



高橋かつお ニュースレター

(第30号)

《連絡先》 栗原市栗駒稲屋敷金田10-2 TEL/FAX. 0228-45-4249

社会新報

発行所
社会民主党全国連合機関紙宣伝局
号外 (水曜日発行)
〒100-8909東京都千代田区永田町1-8-1
電話代表03(3592)7515・振替00140・1・3203
●定価180円●1ヵ月700円●送料160円

私の決意 「来年4月の市議員選挙まで、あと6ヶ月」

皆様のご支援により再び、議会に送り出して頂いてから4年が経とうとしております。初当選以来、発行して来たニュースレターも30号になります。これまで、励ましのハガキや手紙、問い合わせの電話など多くの方から頂戴する事ができ感謝を致しております。

議会では皆さんから頂いたご意見を生かし、市長の見解を求め、議案のチェック、提言を行う事ができました。市民の皆様

様方に心から感謝と御礼を申し上げます。

栗駒山登山道整備の推進、戦没者名簿の整備、井戸水の検査や浄水器設置助成制度など、皆さんの要望が実現した一方、全国的な少子高齢化、人口減少の中での栗原市の市民サービスのあり方、人口減少に負けないまちづくり、汚染稲わらや牧草、TPPと減反廃止、企業誘致と雇用問題など数々の課題が山積みです。これからもご支援をお願いいたします。

9月定例議会 (9月13日~10月6日) 報告

今回の補正は、平成27年度決算に伴うものや、市道整備及び水路やため池等の農業用施設整備などを行う一般会計と国保会計などの特別会計を含め総額13億5,956万円の予算議案(10件)若柳金成工業団地の分譲地を(株)ハイレックスコーポレーションへ売り払うための財産処分や児童館条例を廃止する条例などの予算外議案(13件)介護保険による要介護2までの福祉用具への給付継続を求める意見書(1件)平成27年度決算認定(12件)等を審議し原案通り可決しました。

平成27年度各種会計の決算状況 (表示は万単位まで)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引き額
一般会計	489億2,711	465億3,276	23億9,435
特別会計	274億6,294	269億5,807	5億 487
国保会計	104億7,063	101億8,094	2億8,969
介護保険会計	93億7,771	92億6,134	1億1,637
後期高齢者会計	8億4,152	8億3,401	751
下水道会計	33億1,749	32億8,435	3,314
農業集落排水会計	2億4,835	2億4,264	571
合併処理浄化槽会計	2億8,405	2億7,843	562
簡易水道会計	14億6,834	14億3,498	3,336
診療所会計	4億 241	3億8,993	1億1,248
工業団地整備事業	10億5,240	10億5,142	98
合計	763億9,005	734億9,084	28億9,921
水道事業会計(万円)		病院事業会計(万円)	
収益的収入	16億3,920	収益的収入	69億5,863
収益的支出	16億1,426	収益的支出	74億6,409
差引損益	2,494	差引損益	△5億 546

可決された 主な事業 (9月補正予算)

- ◎防犯灯設置工事費の増額(10基) 498万円
- ◎農業施設整備工事費等の増額(片子沢権場沢他35ヶ所) 1億6,443万円
- ◎市道整備工事費等の増額(高松線他64ヶ所) 3億6,700万円
- ◎はげましホーム施設整備の追加(築館) 1,300万円
- ◎瀬峰トレーニングセンター改修工事 5,370万円

教訓生かせ!! 台風10号の。

by アオニサイ

妻 台風10号さ。太平洋を北上してきて南下し、Uターンして宮古に上陸してくるという変わった台風だったね。

夫 普通の台風は南日本に上陸して日本を縦断してくるんだけどな。

妻 それにしてもオラ方さ上陸しなくて良かったね。ホント。

夫 宮古や岩泉町・北海道の人達には悪いけど、石巻に上陸したら台風の目が栗駒山にぶちあたって栗原は大雨だったよな。

妻 そうだよな。24人の死者行方不明者が出たし、孤立集落も沢山でたけど、栗原も同じ被害にあったと思うよ。収穫目前の栗原耕土の稲はメチャッとやられたよな。

妻 9月に栗原市が配った「台風・大雨に備えましょう!」という黄色のチラシ見た?

夫 うん見たよ。台風10号の教訓かな。中味はよく解ったけどさ。今後のためには台風10号が宮城を直撃した場合の被害予想と対策を県民に知らせる事が防災に役立つんでないかと思うんだ。

妻 確かに役立つと思うよ。東北上陸型なんて初めてなんだもの。心構えが違ってくる。

夫 オレこの頃心配してることもあるんだ。

- ①迫川の堤防は本当に大丈夫なのか。
- ②河川敷に沢山立木が繁ってるけど水流が止まって堤防決壊の原因にならないか。
- ③流木がめぐり橋の橋脚にからまって橋が流されるのではないか。
- ④低地の老人施設は避難できるのだろうか。

とかいろいろ心配なんだよ。

妻 台風14号が9月14日、台湾南部を襲ったよな。なんと気圧が900hpa以下だし風速は50s/m以上でスーパー台風と言うらしいね。

夫 この頃、地球各地で異変がおきてるそうだね。南の海が異常高温になって大型台風がおこるらしいし、豪雨や高波、熱波、干ばつ等々地球はどう変わっていくんだろうね。

妻 地球の平穏を祈るしかないね。

私は市民からの要望・意見をふまえて以下の点について質問しました

質問



クマ、イノシシの被害が多いが対策は？(栗駒のKさん)

- ①クマやイノシシのわなの設置及び捕獲状況は。
- ②わなの数、所有者、管理点検や補修はどうなっているのか。
- ③クマの被害が発生し、通報してからわな設置までの時間がかかりすぎる。短縮に向け県との協議は。
- ④わなを設置した場合、毎日見回りに行く事になる。実施隊の方々からは、クマとはちあわせになったら危険、銃器の持参を望む声があるが市長の見解は。
- ⑤電気柵の設置補助の補正と設置補助金額の増額を検討すべきである。

答弁



- ①平成27年度はツキノワグマのわな設置は1件で、捕獲も1頭、イノシシのわな設置は無かった。今年はツキノワグマのわな設置は17件で8頭を捕獲している。イノシシについては、4件のわな設置を行っているが捕獲はゼロである。
- ②ツキノワグマ用のわなは、市所有が2基、猟友会所有が22基で、イノシシ用は市が2基で猟友会所有が7基となっている。管理や点検は地区の実施隊にお願いし、わなの補修については市の負担で修理している。
- ③ツキノワグマのわな設置許可は県が出すことになっている。今後、時間の短縮に向け県と協議をしていく。
- ④銃刀法や鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律などにより見回りの際の銃器の携帯は認められていない。しかしながら、実施隊からもわなの見回り時には、身の危険を感じる事から銃器の携帯を要望されており、警察署及び県と取扱いについて協議していく。
- ⑤電気柵を設置した場合、購入費の2分の1以内で最高5万円を助成している。今年度は、クマやイノシシの被害が多い事から、今後の要望により不足が生じた場合は対応する。また、補助金の増額については、これまでの実績を踏まえ検討する。

質問



今後、農業委員は選挙ではなく市長が任命するの？(栗駒Sさん)

- ①農業委員会の新制度移行に向けた、協議状況と今後のスケジュールはどうか。
- ②農業委員の選出にあたっては、女性が参画できるようにすべきではないか。

答弁



- ①農業委員の選出方法が、公選制から農業者等からの推薦・公募により、市町村長が議会の同意を得て任命する事になる。また、新たに農業委員会が委嘱する農地利用最適化推進員の設置が行われる。現在の栗原市農業委員が平成29年7月23日に任期を迎えるので、新制度移行に向け農業委員会と協議していく。
- ②現在の栗原市農業委員会の女性農業委員は公選委員5人、議会推薦委員3名の8人である。女性の視点と感性を活かした活動は必要であり、農業委員として活動して頂きたい。

質問



県立循環器・呼吸器病センターの栗原中央病院への移管・統合の影響は？(若柳Kさん)

- ①栗原中央病院に移管される診療科、赤字への対応、医師や看護師、技師などの確保、病院労組との協議状況等はどうなっているのか。
- ②県立循環器・呼吸器病センターの栗原中央病院への移管・統合問題に対する栗原市としての態度表明の時期は遅くとも年内中と考えるが。

答弁



- ①県からは、秋口を目途に、移管・統合にかかる県の方向性が決まるとの説明があった。質問のあった跡地の利活用や移管予定の診療科、赤字への対応等については、10月中には県の方向性が示されると思うので、その時点で説明する。結核医療については、県の責任で病棟を建設し、施設の維持管理費、人件費を含めた運営経費など一切の経費は県が負担すべきである。医師や看護師などの医療スタッフの確保や看護師などの研修体制についても県からの説明はない。
- ②県から方向性が示されたら、移管・統合にかかる条件面の協議を行い、年内中に市の態度を決める。

質問

来年4月オープン予定のくりでん鉄道公園の運営主体は？(金成Tさん)

答弁

- ①現在は、オープンに向け、資料などの展示工事と外構工事をしている。鉄道公園の管理として、資料館などの建物や気動車及びレールバイクの乗車会、イベントの企画・運営、芝生公園などの管理が想定される。当面は市直営による管理を考えているが、将来的には指定管理制度を導入したい。